

がん研有明病院 移転10周年記念

Hospital Concert

大島花子コンサート



大島花子（うた）
& 笹子重治（ギター）

【日時】
2015年4月17日(金)
17:00～17:40

【場所】
がん研有明病院
1階 ホスピタルストリート



がん研 有明移転 10th Anniversary



【Program】

♪：上を向いて歩こう

♪：見上げてごらん夜の星を など

【Profile】

大島 花子 Hanako Oshima (歌手)



1992年東洋英和女学院大学入学と同時にミュージカル「大草原の家」で初舞台。1997年頃、役ではなく自分の言葉で表現したいと歌手を志し、作詞作曲を開始。OLや塾講師などをしながらライブハウスなどで歌を歌いつづける。2003年父・坂本九の「見上げてごらん夜の星を」でメジャーデビュー。

11歳の時に突然父親を飛行機事故失うという出来事、また長男の出産を経験し、命の尊さ、かけがえのない日常の輝き、を大きなテーマとし「いのちの、うつくしき」を歌い届けている。

2010年からはショーロクラブの笹子重治氏(ギター)とのデュオライブ活動を開始、様々な楽曲を独自の世界観で表現し好評を得ている。また坂本九の遺した楽曲の継承者としての役割を日本各地で果たすべく歌を歌い伝える。

出産を機にはじめた親子ライブはNHKのドキュメントでも取り上げられ、国際協力NGOジョイセフの妊産婦支援をはじめ、被災地支援活動 東北でのライブ、老人ホームや障がい者施設、ホスピタルコンサートなどで 歌を通じたふれあいも積極的にやっている。音楽は手渡しで届けたい。と、ライブを中心にした

活動をしていたが、より多くのひとに作品を知ってもらいたいと、気持ちを伝えられるよう完全アナログ録音によるファーストアルバム「柿の木坂」を2014年12月に発売。有線インディーズチャートで上位を記録するなど好評を得ている。オリジナル曲「カトルカール」は現在日本テレビ系列「ストレイトニュース」ウェザーニュースとしてOA中。

坂本九のお馴染みの楽曲をはじめ、命の美しさ、平和の尊さ、絆の大切さを訴える曲、客席と一緒に手話を交えて歌う曲、笑える曲、泣ける曲などなど、大好きな家族と共に過ごしているような心あたたまるコンサートは、老若男女を問わず好評を博している。

笹子重治 Shigeharu Sasago (ギター)



1958年、神戸市生まれのギタリスト。

86～87年にかけてブラジルで活動し帰国後ショーロクラブを結成、これまでに23枚のアルバムを発表。単独でも、大島花子の他、EPO、比屋定篤子、鈴木亜紀、古謝美佐子、Ann Sally、畠山美由紀、桑江知子、NUJ、松田美緒、大島保克、手嶋葵、amin、吉田慶子、鈴木重子、照屋美穂、かとうかなこ、小松亮太等、J-POPから民謡までの歌手やインスト奏者のサポート、サウンドプロデュース、レコーディング、アレンジ等多方面で活躍中。

2012年には、初のソロアルバム「onaka-ippai」リリース。2013年には自身の第二のユニット「コーコーヤ」の2作目の作品集「FREVO!」をリリース。

最新作は、ショーロクラブによる作曲家武満徹の作品集「武満徹SONG BOOK」。

がん研ボランティアシンボルマークのご紹介



がん研ボランティアシンボルマーク

がん研究会のかにのシンボルマーク  に因み、かにのはさみが

ボランティア (Volunteer) のVマークを象り、2つのかにのはさみは
手と手を取り合い、助け合いをイメージしたマークです。

ホスピタルコンサートのご報告



有明移転 10 周年記念して、坂本 九さんの長女で歌手の大島花子さんと、多くのアーティストと共演されているギタリストの笹子重治さんをお迎えしてのホスピタルコンサートを開催しました。お二人には昨年もお越しいただきましたが、花子さんの温かい歌声と九ちゃんの名曲に多くの患者さんやご家族を笑顔に包んでくださいましたので、今年も出演をお願いしたところ、快く引き受けてくださいました。

様々な曲で院内にさわやかな風を運んでくださいましたが、中でも患者さんに大人気でお馴染みの『上を向いて歩こう』では、お父様の坂本 九さんから譲り受けた手話を会場の皆さんへ教えてくださり、手話をまじえて歌うことができました。患者さんお一人お一人に温かい眼差しで、語りかけるように歌を届けてくださる花子さんのコンサートに癒された方も多く、晴れやかな笑顔で涙を流される方もいらっしゃいました。

終了後にはホスピタルコンサートでは初めてでしたが、会場の皆さんとハイタッチをしてくださり、患者さんやご家族も大喜びでした。心と心が繋がったと感ずることができた素晴らしいコンサートになりました。